

五分館だより

第12号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日

H3.3.1現在
戸数 95戸
人口 428人

区政研究委員会 先進地視察行なわれる

区政研究委員会では、「先進地を視察し、研究委員会での参考にしようか」という意見に添って3月15日に、ほたるの里辰野と山峡の長谷村を尋ねた。当日は20名の参加があり、視察地では皆熱心に見聞きし、質問も沢山出されていた。「他の土地を見るだけでも良い事だ」の感想が参加者の気持ちを物語っていた。

松茸を育てるには 山を育てる

辰野町役場では、職員個人の山のスライドを見ました。あくまでもスライド用だからと言うのですが、直径三メートルの円上に松茸がごろごろ。一斉に溜息が洩れる程でした。ある程度開かせて胞子を飛ばさないで、絶えてしまうと言うわけで、そのまま置いてあるのですが、今の堀越では心配で、それまで置けないのが現状ではないか。対策として、横切ると音が出る装置や、一定の間隔で放送を流す等の工夫をしている様です。とにかく『松茸を育てるには山を育てる』と言われる位手入れが必要で、茸



ほたるの専用水路を見る

の終わった時にカヤをかくのが一番良いそうです。次にホタルについてですが、絶滅寸前だったホタルの専用水路を造り、ホタル復活となったわけです。ホタル祭りも、テレビ、ラジオ、新聞、文字放送等で宣伝をし、二十万人もの人が訪れるまで定着して来ましたが、どうしても何かイベントをやらないとお金を落し

心に残るお別れ会

三月二十一日に、堀越子供会では、区民会館でお別れ会を行いました。十時に集まり、男子はまき拾い、女子は昼食の準備をし、ピラフと漬物とデザートを作りました。

午後からは、公園へ行きレクをしました。時間が少なく、大なわ飛びしかできませんでしたが、とても楽しくできました。チーム分けをして、そのチームの全員が入り何回飛べるかやり

ました。どのチームも練習の時の方が調子がよかったようで、本番になるとあまり飛ばずみんな残念そうな顔をしていました。そして、もう一度区民会館へ来て、卒業生に記念品を渡し、おやつになりました。おやつには、お母さん方が作ってくださったドーナツ

公園化し 本州鹿を育成

全国的に有名なほたるの里辰野、最初に松茸山の試験地の内容と、スライドに

ナッツなどを頂きました。どれもほんとうにおいしくて、びっくりしました。この一日、とても楽しく過ごせたと思います。卒業生にとっても、心に残るような一日であつたら、私達もとてもうれしく思います。中学三年 越野やよい

米山喜美子

よる松茸の発生状況、ツボミからヒラキに至る半円径三メートル位と云う帯状は圧観である。

次にホタルの里、県の天然記念物として今日に至る説明、環境作り、水路の改修、休耕田へ水路を設置し、ホタル、カワナナの幼虫を購入し、放流する迄にホタル祭の観光事業等にとりくむ努力は容易ではないと痛感する。

職員の案内で休耕田の水路等を視た後一路長谷へ。伊那の山峡長谷村は標高八百四十メートル、人口二千六百余で大鹿村と背中合わせの谷合の村である。学徒勤労奉仕以来四十六年ぶりに訪れた地はダムが出来道も良くなり一変した。

助役さんと職員より三峰川総合開発とダム事業、そして観光と山村学習、村の内容説明等、地場産のヨモギセンベイを頂き養鹿事業を聞く。

公園化し本州鹿を主に八十頭余育成し、年間二十頭位生体販売の由、現地を視て公害も少ない。村では解体食肉販売はしない云う。

何が原因で出来ないのか保護団体の圧力か？ 仔鹿のバンビを見て夕日が西駒へ傾く頃伊那山峡を辞し帰路につく。

武田 幸義

黒谷箋

仕事で一日中トラックを運転していて気のついた事をいくつか書いてみたいと思います。

自分の運転は決して上手ではないと思うけれどマナーの悪い人がいるのが気になります。

まずスピードの出し過ぎです。若い運転者に多いようですが、はみ出し禁止の道路でも制限速度で走っていると対向車がないと、ものすごい勢いで追い越して行きます。こっちの方が一瞬ドキッとしてしまいます。

次に駐車違反のことです。夕方、飯田の街(特に中央通り)は違法駐車車の列が出来てすれ違う事も出来ない事があります。もっとひどい車になると横断歩道の上に駐車しているのがあります。ミニパトが取締りに来るとすぐに逃げてしまいます。ミニパトが行ってしまうとまた同じです。

裏通りではすれ違いも出さないような道路に駐車してあり車が渋滞してしまします。

またカーブや退避所みたいに広い所に当り前のよう

宮下 茂

心地良き地を得て



<中宮に根むす>

人生の旅の
終りに宮下 喜夫さん
君子さん

私は小さい頃よりマドラスに憧れ、十七才の時北海道小樽の高等商船学校に入學、戦時中につき三年の學業も一年三ヶ月にて終了。捕鯨母船『第二日新丸』に乗船、まもなく徴用船となり、シンガポール、セクタ軍港南方方面第十根司令部直屬の軍艦に乗り換え、ボルネオの近くのミリー島を根拠地として最前戦に投入され危険区域を転戦、再三再四の死地を脱し参戦も今は昔の物語です。

悪運が強いのか、終戦と共に帰国、当時、呉軍港を基地としていた英國艦隊日本駐留本部に、日本人管理事務と日本人雇用により各町村に大工、左官、その他雑用人夫を集める仕事も兼ねる。

三年にてやめて、二十三年秋に横浜に移り住み二十四年間色々な職業をやり、四十五才で自営を始め七年でやめて、静岡県焼津市にて再就職。十四年間の勤めも定年退職、焼津の暖かい所で居をかまえて過ごす心算でしたが、家内の実家、生れ育った家が空家となって

いるからと話しがあり考えました。空家は澄んでいるし、農作業しながら余生をと思ひ、でもまだまだ第一線で働く意欲が充分あります。

踏みしめて立つこの大地、堀越は私の第四のふるさととして、先住の皆さま方の指導を頂き仲良く、この良き地の一員として頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げ、鉛筆を置かせていただきます。

お話の内容を簡単に紹介しますと、長寿国民であるわれわれ日本人がほんとうに長寿を樂しめる人生にするには心身共に「健康」であることが必要不可欠であります。その健康を維持するために有害なものは、働き盛りの男性に多いストレスと食品添加物である。

しかし、現代人の生活様式からこの二つはどうしても逃れられない状況にある。従ってそれらを少しでもなくするために主婦の果たす役割が重要となってきます。中年男性に多いストレスを解消させるには、家庭の

婦人会 宮下つな枝

これは、飯伊交通安全協会が年に一つくらいの新設を行なっているもので、豊丘村の安協の呼びかけで黒谷線に決定したそうです。普通は県道クラスの道路に優先して設置するそうですが、事故もたまにあったり、松茸観光には、村内、外からも多くの人々が車で来る

事から特別に設置されたといひます。豊丘村安協の代田和夫さんに話しを伺ったところ、このカンバンは免許証の書きかえ時にカバーをもらって会費を収めますが、その収めたお金でこういったカンバンを作ると言っていました。そして今回設置され



ただの立看板にならぬように

いま一度なれた道でも気を

連日の様に新聞紙面を埋める交通事故のニュース。いつになっても終わる事はないのでしょうか。この堀越区内でも自損、出会頭の衝突事故をちよくちよく耳にする事がありました。そんな中、黒谷線の駒沢上に大きな立てカンバンが設置されました。

黒谷線にカンバン
『今一度、なれた道でも
気を引きしめて』

たものななんと三十万円もするという話しでした。区民の反応は、「初めて見た時はやけに目立ち気になったけど、今はあまり眼中になくなってしまった」「観光客など普段あの道を通らない人は、こころへんは危ないかなと減速するんじゃないかな」と効果があ

ると見る人と、「あまりにも大きく桜の咲く時期にはちょっと景観が損なわれるのではないかと思つた。」とさまざまな意見がありました。しかし安協から事故が少しでも減る様にとの気持ちがあのカンバンに込められている事を思い、一人一人が安全運転に対する意識を高める事が必要だと思います。そしてこの堀越からは、カンバンは無くても良いとはっきり言える様に心がけましょう。

引きしめて運転しましょう。黒谷線でもう一つ気にしたのが夜道の淋しい事で

健康は食の充実から

《婦人会講演会より》

す。道中に防犯燈を立てたらどうか。中学生の通学や、堀越のイメージも明るくなる気がします。

平成二年度婦人会事業として「健康は食の充実から」をテーマに二月十七日講演会が開催されました。

講師の平栗あい子先生は家の光・エコープの酢味噌講師、飯田市結婚相談員としても活躍しておられ、七十四才とは思えぬ若さにあふれ「陽気でパツと背すじスッカリ」をモットーに生きている、そのとおりの方でした。

お話の内容を簡単に紹介しますと、長寿国民であるわれわれ日本人がほんとうに長寿を樂しめる人生にするには心身共に「健康」であることが必要不可欠であります。その健康を維持するために有害なものは、働き盛りの男性に多いストレスと食品添加物である。

しかし、現代人の生活様式からこの二つはどうしても逃れられない状況にある。従ってそれらを少しでもなくするために主婦の果たす役割が重要となってきます。中年男性に多いストレスを解消させるには、家庭の

中では昔ながらの主人を立てる生活が大事で、それが子供の教育にも良い影響を与えることになる。

又、食事面では、とかくおいしい食品ばかりとりがちですが、結果的には油過多や栄養の偏りを招くことになり、ガン予防にも有効な緑黄色野菜を多くとり、カルシウム吸収に役立つ酢を見直してほしいとのことでした。ごぼうなどの繊維質で固い物を噛むことにより出る唾液が添加物を押さえる働きをするそうです。

先生が作られた資料の中に「一家団らん楽しい食事笑いの中にストレスなし」とありましたが、私達主婦が心と体の健康管理者として家族の健康づくりを自覚し、この講演会で学んだことを実践できたら主催者として幸いに思ひます。

最後に多大なるご協力を頂いた分館役員の方々に心より厚く御礼申し上げます。